



二中だより



2年生南部テクノスクール体験学習

11月18日（月）、19日（火）、2年生が南部テクノスクールで体験学習を行いました。南部テクノスクールは本校の校区にあり、地の利を活かす形で、毎年2年生が体験学習を行っています。南部テクノスクールは、「カラーコーディネート科」と「自動車整備科」の二つがあり、塗装体験、左官体験、自動車整備体験をすることができます。

南部テクノスクールでの体験学習は、キャリア教育の一環で行っています。キャリア教育における体験学習は、南部テクノスクールでの体験だけでなく、1月に職場体験学習も行う予定です。

キャリア教育とは

「児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てる教育」のことで、中央教育審議会答申では、「望ましい職業観、勤労観及び職業に関する知識や技能を身につけさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力、態度を育てる教育」といっています。

キャリア教育で育む力とは

コミュニケーション能力、リーダーシップ、チームワーク、自分の役割を理解する力、前向きに考える力、忍耐力、ストレスをマネジメントする力、情報を理解・選択・処理する力、課題を発見する力、計画立案する力、学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、将来を設計する力等々、将来生きていくために必要なことから学ぶ教育です。



人権コーナー

毎月第一日曜日は、家庭人権学習の日です。資料をもとに各ご家庭で話し合いをしてみてください。今回は、先日行われた人権教育講演会で、講師の桂七福さんに、お話をいただいたことを箇条書きで紹介합니다。

- 今すぐ行動ということではない。将来何かの折に、気がついてくれたらありがたい。
- 親が子どものことを思って言うことの中には、正しく理解されていないことがある。例えば、友達の悪口を言われたりすること。腹が立つし、親子関係を壊すこともあるが、親が言うことは、身勝手ではない。子どものことを本当に大切に思って言ってくれていることがある。
- 言葉には力がある。その一言を言うのが、本当に正しいのかよく考えてほしい。たった一言で、一生涯苦しめる言葉もあれば、たった一言で、人生を支えてくれる言葉もある。それらの言葉は、心の引き出しにしまわれる。時々、心の引き出しから、それらの言葉が出てくる。60歳になるが、5歳の時に言われた言葉、今も残っている。
- 言葉がずれたと思ったら、すぐに訂正した方が良い。SNS、電話等々、いろんな方法があるけれど、直接会って話した方が良い。
- その言葉が気になったら、確認した方が良い。相手が言った言葉を訂正したり、聞いた言葉を確認することは、自分のことを大切に思っている証拠。
- 使う時には気をつけなければならない言葉がある。「かわいそう」「普通」などは、自分が基準になっている。相手や当事者の基準ではないので、時には傷つける言葉になる。
- 「きもい」という言葉は、一刻も早くなくなってほしい。「きもちわるい」が圧縮されてできた言葉だけど、たった三文字だけど、人の気持ちを深く傷つける。早くなくなってほしい。
- 言葉には「とげ」があるけれど、まともに受け止める必要はない。
- あなたを大切に思っている人は、身近に必ずいる。
- 「いい子」「いい人」になる必要はない。「やな奴」にならないようにしてほしい。

十分に紹介しきれませんが、お子様から聞いた内容と合わせて、各ご家庭で話し合ってみてください。講演の最後は、落語を聞いて、みんな笑うことができました。



今週末、来週末と阿南市人権教育協議会桑野支部と橘支部で研究大会が開催されます。誰でも参加可能ですので、ご都合がございましたら、ご参加ください。本校生徒による、人権作文の発表もあります。

阿南市人権教育協議会桑野支部大会

・日時 令和6年12月1日(日)
受付 13:30
開会 14:00

・内容 ○小中学生の作文発表
○阿南市人権教育・啓発講師団
青木正繁さんによる講演

阿南市人権教育協議会橘支部大会

・日時 令和6年12月7日(土)
受付 13:00
開会 13:30

・内容 ○小中学生の作文発表
○浜大五郎さんによる講演

リサイクル用品回収お世話になります！

12月8日(日)は、リサイクル用品の回収を計画しています。ご多用中とは存じますが、ご協力よろしくお願ひします。日程についての案内(11月8日送信)と手順についてのお願い(11月21日送信)は、マチコミメールにてお知らせしてありますので、今一度ご確認ください。